

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和6年5月22日

能登半島地震の課題に向けた緊急防災対策事業について

資 料

- 1 防災グッズ普及促進 ～備えて安心！防災セット～・・・・・・・・・・ 1～3
- 2 災害用給水タンク整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (参考資料)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～11

危機管理課

能登半島地震の課題に向けた緊急防災対策事業について

令和6年元日に能登半島地震が発生、公助による支援が届くまでには時間を要することが浮き彫りとなりました。本町から被災地支援に参加した派遣職員の確認状況からも、特に公助が到達するまでの、個人における日頃からの備えは大変重要であることを再確認しました。

また、神奈川県の一環として、神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金の補助メニューに、令和6年度のみの特設措置として、在宅避難者向けの備蓄品整備が緊急対策事業に追加されたことから、財源を有効活用し、個人の備蓄体制の促進および本町の災害対応能力を向上するため、以下の事業を実施します。

1 防災グッズ普及促進 ～備えて安心！防災セット～

(1) 目的

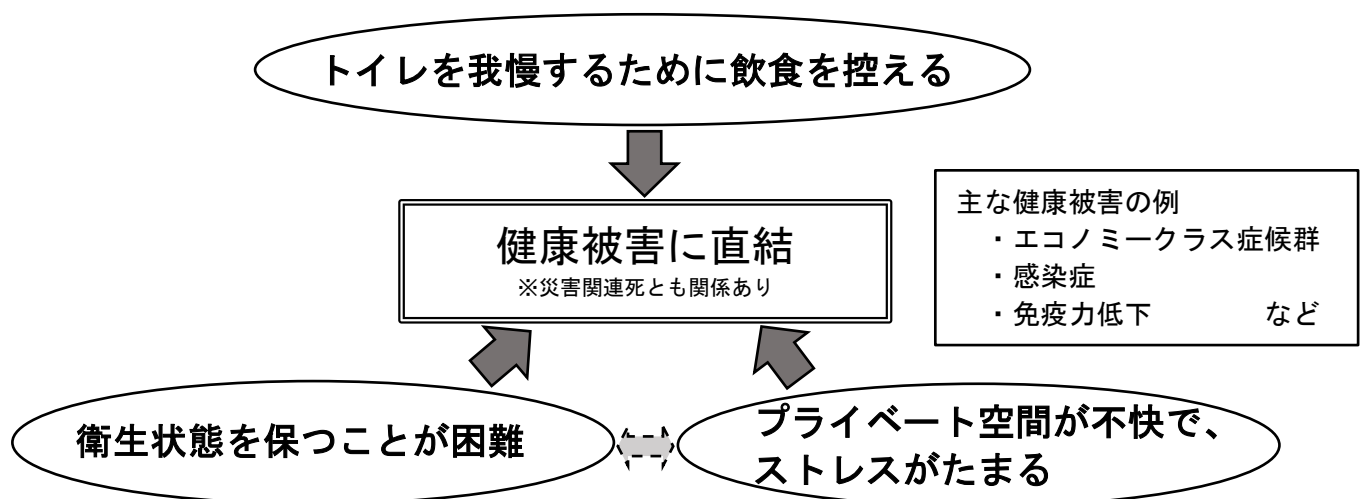
能登半島地震などの災害における教訓から、個人備蓄に関する啓発強化の一環として、非常用の食料品とトイレ用品を防災セットとして普及促進することで、個人の備蓄体制を推進し、自助意識を向上することを目的として事業を実施します。

(2) 背景

災害発生時において、自宅の倒壊等を免れた世帯については、自宅に留まり生活することが想定されますが、ライフラインが寸断する可能性も踏まえ、避難生活をする上で必要な食料品や生活必需品を日頃から備えておくことが重要です。

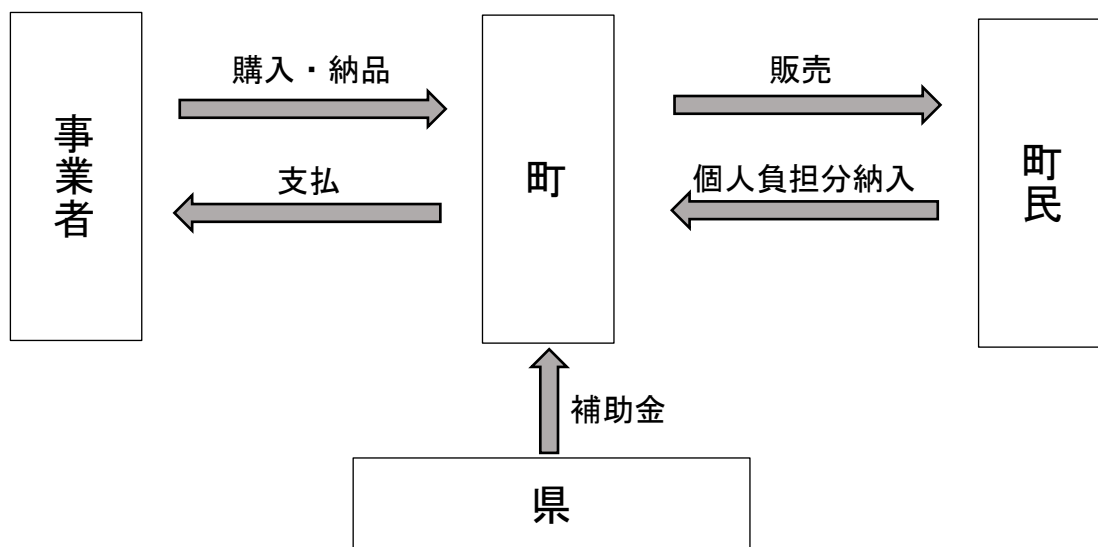
災害時のトイレ事情については、近年の災害から見ても、特に課題であるとされており、トイレの不足や衛生環境の悪化は健康被害に直結するとされています。

しかし、全国調査では、食料の世帯備蓄は約6割、非常用トイレの世帯備蓄は約2割といった水準に留まっており、本町においても、個人備蓄の推進が急務であると考えていることから、本事業を実施します。



(3) 事業の概要

事業者から防災セットを購入し、町民を対象に販売を行います。



(4) 防災セットの内容

ア 非常用トイレセット

災害により家庭の便器が使用不能な際などに使用する非常用トイレと汚物袋のセット

【販売予定価格】

1,500 円

【内 容】

- ・非常用トイレ本体（ダンボール製）
- ・汚物袋（15 セット入り。1 人当たり 3 日分）

イ 非常食セット

災害により在宅避難する場合の食料、飲料水のセット

【販売予定価格】

1,500 円

【内 容】

- | | | |
|--|---|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・ ご飯 3 食・ パン 3 食・ ビスケット 3 食・ クラッカー 3 食・ 飲料水（500ml） 9 本 | } | 1 人当たりおおむね 3 日分相当 |
|--|---|-------------------|

(5) 予算及び財源

【予算】

ア 非常用トイレセット : 2,805 千円 = 5,610 円 × 500 セット

イ 非常食セット : 2,970 千円 = 5,940 円 × 500 セット

合 計	: 5,775 千円
-----	------------

【財源】

神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金（県費：補助率 1/2）2,137 千円

売払収入 1,500 千円（1,500 円 × 1,000 セット）

一般財源 2,138 千円

(6) 事業スケジュール

6 月 : 補正予算審議、入札

7 月 : 周知

8 月以降 : 事業実施（役場、イベント等での販売会）

2 災害用給水タンク整備

(1) 目的

能登半島地震などの災害における教訓から、災害用給水タンクを避難所等に配備することで、町の耐震性貯水槽から避難者への給水活動や、企業庁・自衛隊等からの給水に関する受援体制の効率化を図るとともに、災害用給水タンクを車載することで給水車としての役割も担い、必要な場所への円滑な給水活動を実現することを目的として整備します。

(2) 背景

災害発生時において、ライフラインの寸断による断水時には、企業庁や自衛隊等からの給水支援が実施されますが、近年発生した災害では、給水支援を受けるための災害用給水タンクの有用性が確認されており、全国的にも市町村による整備が進められています。

本町においても災害用給水タンクの整備により、応急給水における受援体制を強化し、水量を確保することで、被災者の安心に繋がることから、本事業を実施します。

(3) 内容

- ・災害用給水タンク（折り畳み式。トラックに積載し給水車としての使用も可能）
- ・数量：10 基（1 基あたり水 1 t が貯留可能）

(4) 予算及び財源

【予算】

災害用給水タンク：5,269 千円＝526,900 円×10 基

【財源】

神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金（県費：補助率 1/2）2,634 千円

一般財源 2,635 千円

(5) 事業スケジュール

6 月：補正予算審議

7 月：入札

8～9 月：納品

11 月：給水訓練（予定）

1. 防災グッズの普及促進 ～備えて安心！防災セット～



(1) 目的

能登半島地震などの災害における教訓から、個人備蓄に関する啓発強化の一環として、非常用の食料品とトイレ用品を防災セットとして普及促進を行うことで、個人の備蓄体制を推進し、自助意識を向上する。

**個人備蓄の
強化・推進**

安く購入できるなら
買ってみて、
これを機会に備蓄品を
揃えてみよう！



(2) 背景

災害発生時に、自宅の倒壊等を免れた世帯については、自宅に留まって生活することが想定される。



ライフラインが寸断する可能性も…

避難生活をする上で必要な食料品や生活必需品を日頃から備えておくことが重要

しかし個人の備蓄は…

食料備蓄 約6割
トイレ備蓄 約2割



個人備蓄の
推進が急務

災害時におけるトイレの課題



トイレを我慢するために、
飲食を控える



エコノミークラス症候群
感染症
免疫力低下 など

健康被害に直結

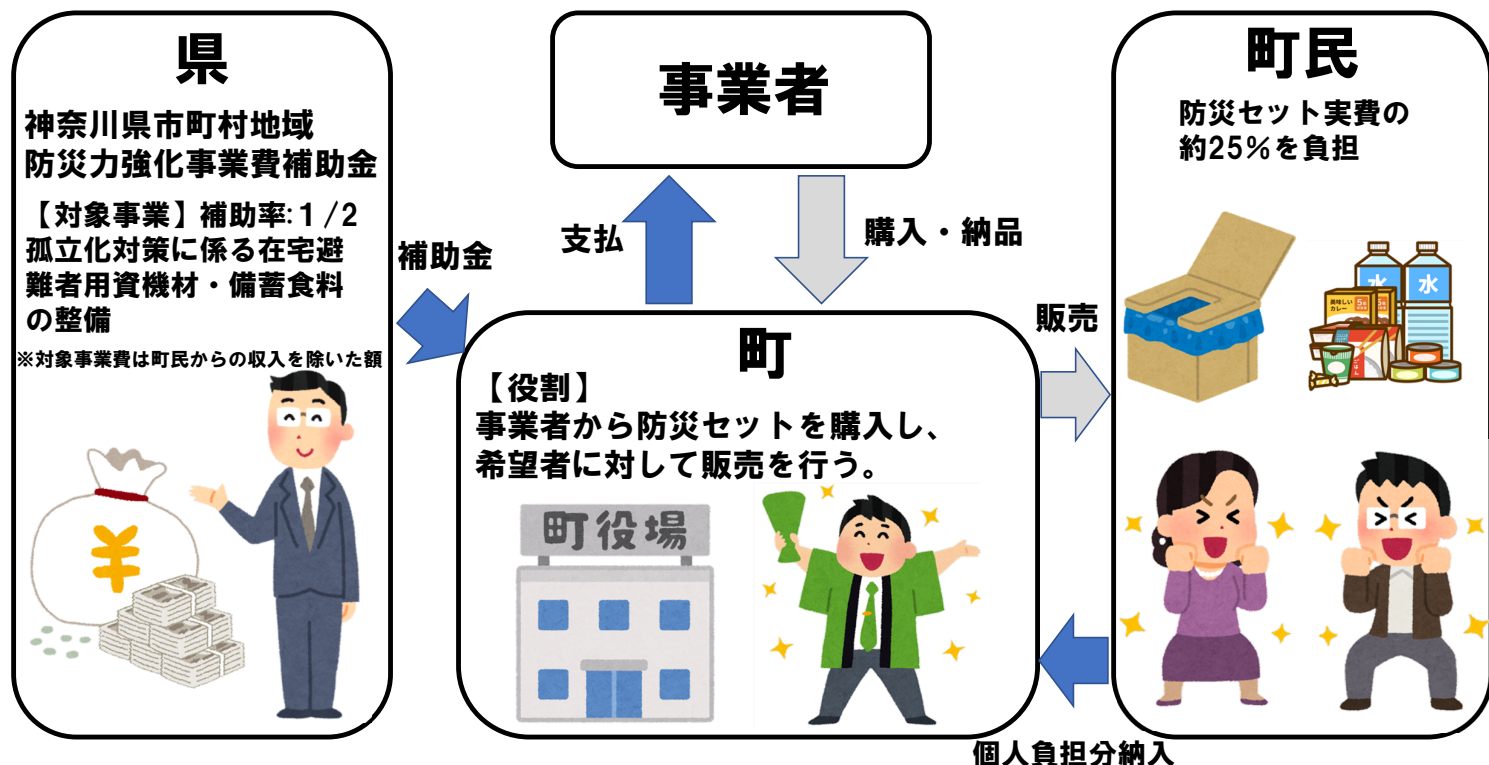
最悪の場合、災害関連死につながることも…

衛生状態を保つことが困難



プライベート空間が不快で、
ストレスがたまる

(3) 事業の概要

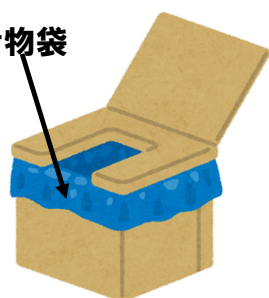


(4) 防災セットの内容

①非常用トイレセット

- ・災害により家庭の便器が使用不能な際などに使用する非常用トイレと、併せて使用する汚物袋のセット

汚物袋



本体

3日分/1人
15セット入り



汚物袋

個人負担：1,500円

②非常食セット

- ・災害により在宅避難する場合の食料、飲料水のセット
(おおむね3日分相当)



個人負担：1,500円

(5) 予算及び財源

合計
5,775千円

①非常用トイレセット }
②非常食セット } 各500セット

【財源内訳】

- ・ 県費 約37% (2,137千円)
- ・ 売払収入 約26% (1,500千円)
- ・ 一般財源 約37% (2,138千円)

6,000円相当の防災セットが
1,500円で購入可能

(6) 事業スケジュール

6月：補正予算審議、入札

7月：周知

8月以降：事業実施
(役場、イベント等での販売会)

2. 災害用給水タンク整備

(1) 目的

能登半島地震などの災害における教訓から、災害用給水タンクを避難所等に配備することで、町の所有する耐震性貯水槽からの給水活動や、企業庁・自衛隊等からの給水に関する受援体制の効率化を図るとともに、災害用給水タンクを車載することで給水車としての役割も担い、必要な場所への円滑な給水活動を実現することを目的として整備します。



(2) 背景

解決



積替え可能な
給水タンクにより、
給水活動を効率化

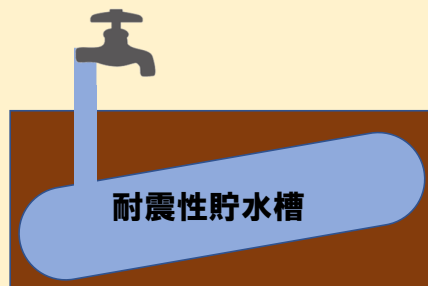
現状の課題

給水車からの給水



給水作業が終了するまで
給水車が拘束されるため、
限りある給水車を
有効活用できない。

耐震性貯水槽からの給水



町内3箇所にある
耐震性貯水槽から給水を行
う際、人が集中して、
効率的な給水作業が
できない。

(3) 内容

1tの水が貯留可能な折畳み式の災害用給水タンク



設置イメージ



給水イメージ



車載イメージ
(給水車として使用)

(4) 予算及び財源

5,269千円

災害用給水タンク 10基分

【財源内訳】

- ・ 県費 約50% (2,634千円)
- ・ 一般財源 約50% (2,635千円)

(5) 事業スケジュール

6月：補正予算審議

7月：入札

8～9月：納品

11月：給水訓練（予定）